

東浦町ごみの分別と減量をすすめる会会議録

| | | |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 名 | 令和5年度東浦町ごみの分別と減量をすすめる会 | |
| 開催日時 | 令和5年10月18日(水)午前10時から正午まで | |
| 開催場所 | 東浦町文化センターホール(1階) | |
| 出席者 | 推進員 | 阿知波 弘 (森岡連絡所長) 梅村 良文 (森岡地区住民代表) 二宮 邦子 (森岡台自治会長) 赤尾 英美 (森岡台住民代表) 内藤 明綱 (緒川連絡所長) 野村 安雄 (緒川地区住民代表) 広瀬 元光 (緒川新田連絡所長) 川添 茂 (緒川新田地区住民代表) 松久 直史 (東ヶ丘自治会長) 吉田 泰三 (東ヶ丘自治会住民代表) 飯田 光晴 (石浜連絡所長) 五十嵐 めぐみ (石浜地区住民代表) 石川 晃 (石浜中自治会長) 神谷 信三 (石浜中自治会住民代表) 山田 隆 (石浜西連絡所長) 原田 隆平 (石浜西地区住民代表) 原田 正治 (生路連絡所長) 濱島 舞子 (生路地区住民代表) 中村 六雄 (藤江連絡所長) 江坂 晴 (藤江地区住民代表) |
| | 町出席者 | 日高 輝夫 (東浦町長) 原田 英治 (生活経済部長) 新美 英二 (環境課長) 久野 貴士 (環境衛生係長) 北田 裕貴 (環境衛生係主事) 森 加奈 (環境衛生係主事) |
| 議 題 | 1 令和4年度可燃ごみ・資源ごみ等の排出状況について 2 ミックスペーパー・製品プラスチックの回収状況について 3 ふた付きごみステーションの活用事例について 4 資源ごみの拠点回収について | |
| 傍 聴 者 | 1名 | |

会議内容

環境課長 開式のことば
傍聴者1名の報告
会議中の録音・写真撮影の了承

東浦町長 参集御礼・あいさつ

環境課長 本会議の目的と概要説明。

座長選出

本会設置要綱第5条の規定により、座長選出を行う。

緒川連絡所長から生路連絡所長の推薦あり。生路連絡所長が座長として承認される。

座長 みなさまにご協力いただき、より良い会議にしていきたいので、ご協力をお願いしたい。

※ 町長退席

議事進行

議題1「令和4年度可燃ごみ・資源ごみ等の排出状況について」事務局から説明した。

資料1

この表は、令和4年度に町内で収集した可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ等の量になる。

1年間の1人あたりの排出量の前年度比を各項目の一番下に示している。1人当たりの排出量は、前年度比で可燃ごみ・不燃ごみは減少傾向にある。資源ごみは、プラスチック類のみ増加傾向である。プラスチック製容器包装の毎週回収やビンからペットボトルへの移り変わり等が要因と考えられる。全体としては微減で、紙・布類の減少については、ペーパーレス化などが要因と考えられる。引き続きごみの減量と分別にご協力をいただきたい。

【主な質疑等】

推進員 排出量の表について、上と下で分かれているため見づらい。グラフ化したほうが見やすい。

事務局 グラフ等で示して分かりやすいものに、次回以降変更していく。

推進員 石浜中地区の1人当たりの排出量が多い。何か特別なことをやっていたり地域的な特徴があれば教えていただきたい。

推進員 毎月の班長会で分別に協力するよう伝えている。また、集会所に雨でも資源を集められる場所を設け、みんなが出しやすいようにしている。

推進員 新しい集落の資源の排出量が高いが、旧集落の排出量が少ない。そのような要因や良かった点を分析して、改善していくのが一番効果があるのでは。数字で見るだけでなく、改善するために進めていくべき。

事務局 旧集落の資源の排出量が少ないことは把握している。拠点の回収については、後の議題で説明する。

推進員 ごみ処理有料化などの大きくデータが変わった時のものが見れるとよい。地域は住民からの苦情が多いため、集積場の在り方や動物被害などを分析して、数字だけではなくところも提供していただきたい。

事務局 表については、見やすいものに変えていく。各地区でごみが荒らされない工夫をされているため、よい事例を他の地区にも分かるように提供していきたい。

推進員 コミュニティの加入率も低く困っているが、分別方法を知らずに捨てる人がいる。捨てる方のPRの仕方などは工夫していかないといけない。

推進員 役場資源ステーションでは、どれくらいの量が出ているか。

事務局 役場資源ステーションでは、町全体の約25%の持ち込みがあるが、回収品目は限られている。

推進員 役場資源ステーションで回収された量は、各地区へ分配されているのか。

事務局 各地区へ分配されている。

議題2「ミックスペーパー・製品プラスチックの回収状況について」事務局から説明した。

資料2

写真は、役場資源ステーションで実際に排出されていた、ミックスペーパーの写真。

多く見られるのは、ヨーグルトカップや紙コップなどの防水加工紙、中が銀色の紙パック、レシートなど。ミックスペーパーの排出全体としても同様の傾向である。

次に、ミックスペーパーの回収実績について説明する。ミックスペーパーの回収を開始した6月から4カ月が経過し、回収量は徐々に増加傾向にあるが、当初の想定より回収量は少ない状況である。そのため、今後も継続した周知が必要だと考えている。

資料2-1

現在ホームページに掲載しているミックスペーパーの回収についてのチラシである。改めてミックスペーパーの回収品目について説明する。ミックスペーパーの見本を今から回すため、確認いただきたい。

まず、ミックスペーパーとして回収しているのは、以前から紙類として回収している新聞、雑誌・広告、ボール紙、段ボール、紙パック以外の紙類である。

回収できないものとして、汚れている紙や、においの強い紙、ガムテープなどの粘着性の強い紙などがあるが、それらを除いたほとんどの紙類をミックスペーパーとして回収する。一部に金属やプラスチックがついていても、そのまま出すことができる。

また、回収するものとしては、圧着はがき、窓付封筒、中が銀色の紙パック、アルバム、写真、カレンダー、レシートなどの感熱紙、カーボン紙、和紙、紙製の卵パック、紙皿やアイスクリームカップなどの防水加工紙、ラミネートされた紙、付箋紙、習字紙、薬包紙、シュレッダーごみなどがある。

まとめると、以前から資源ごみとして回収していたものは、今まで通りお出しいただき、それ以外の紙はすべてミックスペーパーで出すと考えていただきたい。ただし、汚れているものやにおいが強いものは、ミックスペーパーでも回収できないため、もえるごみとなる。

資料2-2

この写真は、役場資源ステーションに排出された製品プラスチックである。衣装ケースや収納ケース、ごみ箱などの大きなものが多く出されている。

また、ポリタンクやバケツ、プランター、ハンガー、食品保存容器なども多く出されている。

10月1日から現在までの約2週間、毎日、回収ネット4、5個分程度排出されている。重量としては、毎日60kg程度回収されており、多くの方にご利用いただいている状況。

これは、製品プラスチックの回収についてのチラシである。製品プラスチックの回収方法や回収品目について説明する。

製品プラスチックは、役場資源ステーションのみで回収しており、袋に入れずにそのまま回収ネットに出すことができる。

製品プラスチックでは、大部分がプラスチックでできているものを回収する。製品の一部に少量のネジやバネなどの金属類が付いていても、そのまま出すことができる。

また、衣装ケースなどの大きなものも出すことができる。

なお、プラマークが目印のプラスチック製容器包装は、今まで通り地区の毎週回収で出していただくものである。

製品プラスチックで回収するものは、ハンガーや書類ケース、収納ケースなどの収納用品や、ボウルや食品保存容器、コップなどの台所用品、ごみ箱やバケツなどの清掃用品、洗濯ばさみや風呂いすなどの日用品、クリアファイルや定規などの文房具、その他CDなど。

回収できないものは、電気や電池で動くもの、ゴムや布・毛・木材などが含まれるもの、発火やけがの危険性があるものである。

改めてミックスペーパーや製品プラスチックの回収品目等について説明したが、皆様の身近な方や近所の方などに共有いただきたい。

【主な質疑等】

推進員 ミックスペーパーでシュレッダーごみは回収できるのか。

事務局 住民が出す分には回収するが、チラシには書いていない。役場の資源ステーションに事業者がシュレッダーごみを持ってきたことがあるため、そうしたことを防ぎたいということもあり、チラシには書いてはいない。

推進員 絶対に分別すべきものと分別を推奨されるものを教えていただきたい。例えば、トイレットペーパーの芯はミックスペーパーで出していいのか、従来どおり出すのか。

事務局 従来の紙類とミックスペーパーの違いは、トイレットペーパーの芯は、従来通りボール紙で出していただきたい。ミックスペーパーはリサイクルにお

金がかかるが、ボール紙はそのまま売却できるため、従来の出し方をさせていただきたい。

ミックスペーパーで出させていただきたいのは、燃えるごみとして捨てていた紙類。今までの分別はそのまま、燃えるごみに入っていた紙類のうち、ミックスペーパーに該当するものはリサイクルしていただきたい。

推進員 リサイクルしたらどうなるか、再利用されている具体例を示して周知できるとよい。金属等を分別しないと、手間がかかってくるなどあれば、それも分かりやすく周知すれば、分別してくれるのではないか。

事務局 ホームページでは、リサイクルされたら何になっているか等は公開している。広報等でも特集するなどの周知を検討する。

推進員 今まで大きな製品プラは切って袋に入れて出していたが、切らずにそのまま出せるのか。

事務局 切らずに大きなまま出せる。切ってしまったも製品プラとしては出せる。容器包装としては出せない。

推進員 金属が含まれるおもちゃは出せるのか。おもちゃと聞いてもどんなものが出せて、出せないのか分かりやすく周知した方がいい。

事務局 一部金属を含んでいても出せる。出てきたものについて、現在業者とも確認中のため、今後詳しく周知していければと考えている。

推進員 おもちゃは、燃えないごみのコンテナに出されているため、そこを周知できるとよいのではないか。

推進員 ごみステーションに燃えないごみとして出されたおもちゃは、最終的にはどの様に処理されているのか。

事務局 最終的には燃えるごみで処理されてしまうため、製品プラスチックで出してリサイクルしていただきたい。

燃えないごみとして出されたおもちゃは、違反シールを貼り一定期間残置するが、それでも置かれている場合は、燃えるごみとして回収している。

推進員 広報に製品プラスチック回収開始のことは出ていたか。

事務局 9月号に掲載した。ミックスペーパーは5月号に掲載した。
推進員 繰り返し周知できるとよい。

推進員 2つのごみの分別の変更があったが、説明会は行わないのか。

事務局 説明会は周知の良い手段だと考えている。今後分別方法の大きな変更があった場合には説明会の実施も検討する。

議題3 「ふた付きのごみステーションの活用事例について」事務局から説明した。

資料3

事例1、ごみストッカー設置前は、カラスに荒らされ周りがごみで散らかり苦情が絶えないステーションだった。ごみストッカーに変えてからは、苦情や相談が無くなり、綺麗にごみステーションを使用することができるようになった。

また、ごみが溢れることもなくなったとのことだった。

事例2、カラスなどの動物に荒らされたり、道路からごみの投げ捨てがされていた。ターポリンストッカーに変えてからは、苦情や相談が無くなり、ごみの投げ捨ての抑止となっているとのことだった。

事例3、先ほど紹介した2つの事例と同様、動物に荒らされる被害やごみが溢れてしまう状態だった。ペタールストッカーに変えてからは、ごみが溢れ出すことなく、動物の被害が減りネットの交換の必要もなくなったため、管理が楽になったとのことだった。

事例1で紹介した物が、ごみストッカー。事例1で紹介した大きさの物をスライドに示しているが、これより容量の小さい物と大きい物がある。

事例2で紹介した物が、ターポリンストッカー。スライドに示している、2つのサイズがある。コンクリートブロックのごみステーションに設置することができる。

また、簡易に設置できるため移動が楽で、折りたたむことも可能だが、重量が軽く飛んでしまう可能性があるため、固定して設置していただくことを推奨する。

事例3で紹介した物がペタールストッカー。これは、4つのサイズがある。先ほどご紹介したターポリンストッカー同様、折りたたむことができ移動も楽にできるが、重量が軽いため、固定して設置できる場所を推奨する。

今回紹介した物については、燃えるごみ専用のごみステーションでの使用を想定している。すぐに荒れてしまうステーションやごみが溢れてしまうステーションで有効だと考えている。予算の都合上、数に限りがあるが、対策に苦慮している場合は相談いただきたい。

【主な質疑等】

推進員 ペタールストッカーを使用しているが、1年半程使用して破れてしまったため縫って使用している。実際はどれぐらいの耐久性なのか教えていただきたい。変えていただけてありがたかった。

事務局 ペタールストッカーは、軽量で持ち運ぶことができる利便性はあるが、もう少し強度のあるものを業者に確認する。

推進員 カラス被害の連絡があった。紹介のあった物は設置していただけるのか。

事務局 被害状況を確認して検討する。燃えるごみ専用のごみステーションで条件が合えば渡すことができるが、各地区たくさん欲しいと言われてしまうと在庫に限りがあるため、状況等を確認して相談させていただきたい。

推進員 集会所の横のごみステーションが荒れてしまう。住民にこういったごみステーションがあると知らせることも大事。

事務局 在庫は現在あるためご相談いただきたい。地区で購入いただいたところあるため、その辺りも相談させていただきたい。

推進員 ごみステーションの現物を見るとよく分かる。ごみストッカーも見てみたい。各地区の要望があるかと思うが、どれぐらいの数を要望できるのか。

事務局 現在は、ごみストッカーの在庫は4個ずつくらいある。ペタールストッカーは2個、ペタールストッカーは1個ある状況。金属のごみストッカーは今年度購入することができないため、ごみステーションの被害状況について確認し、相談させていただき。

推進員 ごみステーションに木枠を付けている。ふた付きのごみステーションが普及すれば、そうした物も必要なくなると思う。

推進員 紹介いただいたごみステーションは、容量が少ないようだが、剪定枝などが出された場合のごみ出しのルール化はされているのか。そして、年末年始などのごみが出される量が多い時期は、予備を畳んで置いているのか。そうしたルール化は必要ではないか。

また、常時置いているのか、プラスチック製容器包装の回収日はその前に置かれるのか。

事務局 常時設置しているが、資源のかごが置けなくなってしまうため、燃えるごみ専用のごみステーションにしか設置できない。

剪定枝についてだが、現在設置している場所は、そうした物を捨てても溢れない規模の所。ごみの排出量に見合う個数を置いているため、剪定枝の出し方のルールなどはない。

推進員 ごみが溢れない適正な量の所だけに限定して置いているのか。

事務局 カラス被害が多い場所に限定している。ふた付きのごみステーションを全ての燃えるごみ専用ステーションに置く予定はない。カラスの影響が多いステーションは、相談させていただく。

推進員 予算について伺いたい。新設のごみステーションや移動するごみステーションの予算措置はどの様に考えているか。

事務局 地区から要望があれば、必要な分は予算を確保していく。移動式ごみステーションは、ある程度のストックがあるため、それを渡すかストックが無ければ新たに予算措置の対応をしていく。その都度要望をいただきたいが、時間は少しかかってしまう。

議題4「資源ごみの拠点回収について」事務局から説明した。

資料4

資源ごみの拠点回収の目的は、住民の方の利便性と資源回収量の向上によるごみの減量である。推進員の方々と一緒に考えていきたい。

資源ごみの収集の現状は、各地区のごみステーションで回収された量が全体の75%で、役場の資源ステーションでの回収は25%。

回収の現状としては、役場の資源ステーションは365日24時間回収でき、種類は缶、紙類、ペットボトル、製品プラスチックである。各地区のごみステーションは月2回で缶、紙類、ペットボトル、ビン、プラスチック製容器包装が回収できる。

役場資源ステーション1ヶ所でこれだけの量を回収している理由を考えると、近くまで車で持っていける、24時間365日いつでも回収しているところが考えられる。そして、みなさんの家の近くにステーションがあったり、製品プラスチックやビンなど

の回収を増やしたりすると回収率がもっと高くなると考えられる。

この方法として、資源ごみの拠点回収場所を設置したら良いのではないかと考える。

拠点回収場所を設置した時のメリットは、資源ごみを出す機会が増えることや家の近くで資源ごみや製品プラスチックが出せることである。

拠点回収場所の素案として考えられるのは、地域の方の理解と地域が目が必要となる。

回収品目としては、缶、ペットボトル、ビン、製品プラスチック。紙類が無い理由は、常設にした場合、雨が降るとリサイクルできなくなってしまうため除いている。場所は、各コミュニティセンター等でやれたらと考えている。回収日については、案1は、土日にかごを設置、案2は常設。コミュニティセンター等で置くとする回収時間はしっかり決めないといけない。夜間早朝以外の時間での回収を検討している。

案1の土日のかご設置は、金曜日にかごを設置し土日の夜間早朝以外は、いつでも出せるようにし、月曜日に業者が回収にくる。かごはコミセンの隅に寄せて置く。当初は排出量が不明なため、かごから溢れてしまう可能性がある。

また、石浜東と石浜西については、月2回の回収が金曜日からかごが設置されるため、メリットとしては、それ以外の2回分となる。

続いて案2の拠点回収の常設については、早朝夜間以外に排出可能とする。回収は、週に2・3回行う。常設にすると違反ごみが出されてしまうことが考えられる。

回収場所については、コミュニティセンター等と書いているが、スライドに示した場所では半径2キロ圏内で、役場や森岡コミュニティセンター、卯ノ里コミュニティセンター、藤江コミュニティセンター等で捨てられる場所があるとよいと考えている。

この拠点回収は、どの地区の方がどこに捨てても良いものとする。あくまでも、住民の利便性を考えた素案であるため、地域の方と検討していきたい。推進員の方の様々な意見を聞かせていただきたい。

【主な質疑等】

推進員 拠点回収については大賛成だが、管理はどの様にしていくのか。

事務局 基本的には、週2・3回の回収で足りるかごの数を設置する。当初は溢れてしまう可能性があるが、足りる個数を設置していく。

推進員 土日に不法投棄された場合は、次の回収に来るまでほったらかしになってしまうのか。コミュニティではそこまで管理ができない。

事務局 土日に違反ごみが出された場合は、月曜日に回収する。あまりにもひどい状況であれば、役場に連絡を頂ければ回収に行くことも考えている。

推進員 場所の整備をして管理しなければならない。シルバーなどに管理してもらう予算措置はしているのか。

事務局 回収の予算措置をする予定だが、回収以外の予算措置も検討していく。

推進員 今回の回収にプラスアルファで行うことは良い。

推進員 管理や美観の不安は分かる。森岡で常設のモデル事業として使ってもらえばよい。そこで状況を見て問題を洗い出し、拠点を増やしたらよいのでは。

事務局 モデル事業として、状況を見させてもらえることは大変ありがたいため、モデル事業についてさらに検討し、相談させていただきたい。

推進員 モデル事業で改善点を見て他に増やしていったらよいのではないかと。

推進員 住民から資源ごみを出しても、泥棒に持って行かれてしまうという話を聞くが、防犯カメラの設置などは検討しているのか。住民からも要望があるため検討していただきたい。

事務局 防犯カメラの設置については、検討していく。

推進員 他市町は資源ごみをどの様に回収しているのか。また、役場の資源ステーションには車で持って来る人が多く、回収場所が増えると車のトラブルも増えてしまうのではないかと。

事務局 他市町の資源ごみの回収状況については、東浦町のように常設で24時間行っている所はない。業者が常駐して回収の種類を豊富にしている所はある。拠点回収と各地区のごみステーションで回収している。また、各地区で月に2回収している所もあるが、東浦町のようにかごを設置している所はあまりないため、住民の利便性は高いと考えている。

また、車のトラブルについては、コミュニティセンターまでの道幅が狭い所が多いため、車の通行等についても配慮したい。

推進員 資源の拠点回収のモデルについて、暗い時間帯に分別などが見えないといけないため、照明などの設置をしていただきたい。

その他 事務局から説明した。

資料2-1と2-2について製品プラスチックとミックスペーパーのチラシを必要があれば配布する。

【主な質疑等】

推進員 全地区の回覧に入れてはどうか。

推進員 回収場所にラミネートしたものを掲示してみてもは。

事務局 全地区のステーションについては、検討する。回覧は行っていく。

【全体質問】

推進員 役場資源ステーションの出入口に駐車している人がいた。資源ステーションの管理者が注意することはできないのか。

プラスチック製容器包装の自立式ネットが強風で崩れてしまうことを改善していただいた。対策していただいたがそれでも崩れてしまう。他の地区でも同じ様に対策をしていただくとよい。

事務局 役場資源ステーションの駐車については、ルールを守っていただける対策を検討していく。

自立式ネットについては、業者と話をし強風時には全地区で行っている。また気が付いたことがあれば教えていただきたい。

推進員 回覧を回しても3分の2程度の世帯しか見ておらず、全世帯に行き届かないため、ホームページのトップページなどに出していただきたい。若い人達への周知も徹底していただきたい。

事務局 ミックスペーパーの案内は、ホームページのトップページのスライダーに載せていた。また、担当課と相談し対応していく。

閉会